

【感想文を書くときに】(学校の宿題の感想文でも同じ)

- ① おどろいたところ、興味(きょうみ)をもったところ、感動したところ、共感(きょうかん)したところに「ふせん」をはろう。どんどんはっていこう。
- ② ふせんをはるのと同時にメモを書こう。
思いつくまま書いてOK。感じたこと、考えたこと、不思議(ふしぎ)に思ったことなど、どんどんメモを書こう。1か所につき、1行でもOK。
- ③ 書き出し
その本を選んだきっかけ(タイトルが気に入った・後ろのあらすじを読んでおもしろそうだった等)を書こう。かんたんなあらすじや主人公の性格なども書いてOK
いきなり次の④から書いてもOK
大坪は次の④から書きだすパターンで書いていました。
- ④ 中心部分
ふせんをはったところから**1か所にしぼって**心に強く感じた部分(ぶぶん)について書いていこう。
まずは**場面の説明(せつめい)**から書こう。
「いつ・どこで・だれが・なにをして・どうなった」を書こう。
例 1.これこれこういう場面があった。その時主人公はこのように言った(行動した)。
なぜだろう。自分だったらこうするのに。
もしくは 自分は昔こうしたのに。(ここに理由を入れてくわしく書くといい)
2. 主人公は〇〇と考えて こうしたのか!
自分はそこまで考えていなかった。など 自分と比べてみよう。
つまり→**登場人物が、どこで、何をして、どうなったか**
それに対する自分の「こう感じた、思った、考えた」ことを書こう。
自分の体験を付け加えよう。ここが感想文のキモ!
- ⑤ **最後に自分のこれからの成長につなげよう。**
「この本を読んで〇〇ということがわかった。これからは～」
- ⑥ 書き終わったら おうちの人に読んでもらおう。
○ 1つの文は50字でいどが目安(めやす) 文が長すぎないか?
○ 表現(ひょうげん)に 重なり(かさなり)がないか?
例 ぼくが感動したところは～というところに感動しました。
○ 、や。をしっかりとつけているか?

【今回「夢を跳ぶ」の場合】

今回は「ワークシート」を作りました。

短い文章なので、あらすじをつかむことにしました。

夏休みの宿題の感想文のように一冊の本を読んで感想文を書く場合、「あらすじ」をまとめる必要はありません。

先にあったように「**一番心に残った部分**」をおさえましょう。

そして登場人物はどうしたのか？ **自分ならどうするのか**を考えて、それを書こう。

最後に「この本を読んで **自分はどうか生きていくか（どう変わるか）・何を学んだか**」を書こう。

例 今まで自分は～～だったが、この本を読んでこれからは～～していこうと思った。」など。

今回も そのようにワークシートの後半を作っています。